

広報広聴関係について

各種事業名	概要	開催場所	対象者	内容	教育委員会関係件数 (R3.1定例教育委員会会議以降新たに市のホームページに公開されたもの)
市長とドンドン 語ろう！	市長が各区に向き、まちづくりについて直接市民と対話する。	各区公民館 ホール等	各区区内にお 住まいの方、勤務さ れている方	①まちづくり等について（市長） ②意見交換（市長、出席者）  （平成27年度開始）	0
市民の 声	市長への 手紙		どなたでも	広聴課に寄せられた市長宛のもの。	12
	わたしの 提言			市民からのまち づくりについての 意見や提案を市政 に反映させる。	

各種事業名	No.	開催日 受付日	提案・要望内容	回答内容
市民の声	1	R 2 4 月	<p>○休校中の子ども達への指導について</p> <p>江津湖などで中高生の子どもたちが集団でサッカーやラグビーをしている。その中に1人でも感染者がいたらと思うだけで、ぞっとするくらいの近距離でのスポーツである。</p> <p>その日だけたまたまだったとしても、危機感がなさすぎると思った。何の為に学校が休講になっているのか、もっとしっかり子ども達に理解してほしい。分からない年ではないはずであり、どうにかならないものか。</p>	<p>臨時休校期間中の子ども達への指導について、教育委員会事務局では学校を通じて、休業の趣旨をしっかりと理解し行動するよう児童生徒への指導及び保護者への依頼を行っていましたが、ご提言のような状況が一部発生しているという声をいくつかいただいております。</p> <p>これを受けまして、担当課から周辺学校への情報提供を行うとともに、江津湖周辺等不特定多数の人が集まることが予想される所には原則行かないことなど、引き続き子ども達へも学校を通じて指導してまいります。</p>
	2	R 2 4 月	<p>○教育現場での感染対策について</p> <p>熊本市の対応が他の市町村に比べ速いことに、安堵と一層の緊迫感を感じている。この新型コロナウイルスは長期間に渡って警戒しなければならぬという見通しが報道されている。学校が再開された場合の対応が心配でならない。現在も登校日等には各家庭での検温、体調観察をするよう指示はされているが、個人の善意まかせではこの感染拡大予防には限界や抜けが出ることは容易に予想される。</p> <p>登校時(校門前など)での検温、在校中でも定時の検温の実施、症状がみられた児童の一時的な待機場所や対応職員の配置、職員を守る物品の整備など、この休校期間中にしっかりと準備ができるようにしてほしい。再開のあり方も含め既に検討を進めていることは思うが、教育現場でどのような整備がされているかを保護者に周知してもらえれば、不安の軽減、感染予防への意識の高まりが得られるように思う。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により、熊本市立学校においては令和2年3月2日(月)から一斉臨時休業となり、現在に至っております。</p> <p>これまでの間、各学校において卒業式や始業式等、数日の臨時登校日が設けられましたが、児童生徒が登校する前の教室等の清掃等については、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室、廊下の窓を開けて換気を行うこと</li> <li>・教室を清潔にし、床にゴミが落ちていない、ゴミ箱にゴミがないようにすること</li> <li>・児童生徒がよく触れる箇所の消毒等を行うこと</li> </ul> <p>を、また登校日における児童生徒の健康状態の把握については、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での登校前の体温測定を徹底させること、家庭で測っていない児童生徒等は学校で検温すること</li> <li>・学校では時間をかけて健康観察を行うこと</li> <li>・可能な限りマスクの着用を促すとともに、咳エチケットを励行すること</li> <li>・手洗い・うがいを徹底すること</li> </ul> <p>を、学校へ通知し、対応しています。</p> <p>教職員についても、国からの布製マスクの配布を始め、在宅勤務や出勤時の検温など、新型コロナウイルス感染症予防の体制をとっております。</p> <p>現時点では、学校の再開がいつになるのかは不明ですが、再開した後の新型コロナウイルス感染症対策の対応について、検討しているところです。</p> <p>今後は、学校再開後の感染症対策をまとめ、学校に通知するとともに、その状況を市ホームページに掲載するなどして保護者の皆様に周知してまいります。</p>
	3	R 2 4 月	<p>○給食費の無償化について</p> <p>熊本市でも「給食費の無償化」を検討してはどうか。</p> <p>現在、新型コロナウイルスが収束する見込みが無い中で、緊急事態宣言が出され、企業活動が自粛されるなど、経済活動が縮小し、働く人々の収入が少なくなっていると思われる。</p> <p>テレビの報道から得た情報だが、大阪市では、もともと給食費の無償化を検討していた中で、施策を前倒しし、令和2年度に限り給食費を無償にするそうである。</p> <p>熊本市でも同様に、保護者の経済的負担を軽減するために、給食費を無償化、あるいは半額にすることは出来ないか。小中学生の保護者の中には、若い人が多く、家庭の経済基盤が大変脆くなっていると思われる。</p> <p>大阪市の場合で、給食費は年間約5万円の負担だそうである。熊本市でも同程度の金額と思うが、その金額の負担が無くなるか、半額になるだけでも、若い保護者は助かると想像する。</p> <p>予算措置が必要になると思うが、小中学生の食を守り、その世帯の生活を助ける為であれば、市民も納得すると思う。</p> <p>今、小中学校の授業は本格的にスタートしておらず、給食も提供されていないと思う。給食がスタートする前に検討する事は出来ないか。</p>	<p>給食費につきましては、学校給食法により運営に関する費用を除いた部分(食材部分)については給食を受けるものの負担と規定されております。</p> <p>本市においても、この規定に則った受益者負担の観点から保護者に負担をお願いしているところがございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う企業活動の自粛による、業務縮小や家計収入の影響に対して、本市においても様々な経済的支援に取り組んでいるところです。</p> <p>給食費に関しましては、経済的に厳しいご家庭に対しましては、従来からの施策であります生活保護や就学援助の制度により給食費の全額を助成しているところがございます。</p> <p>今後とも、このような制度の周知と丁寧な説明に努め、保護者の方々の経済的負担の軽減を図ってまいりたいと思います。</p>

市民の声	4	R 2 4月	<p>○ 道路遊びについて</p> <p>コロナ自粛もあり、自宅で勉強、療養する人もいることも配慮してもらいたい。最低でも道路でのボールだけはやめてもらいたい。車や家に当たる被害も出ている。自粛したくても家にいることが出来ない。 道路族でネットで検索して頂けると分かって頂けると思う。 本当に切実である、死にたくなるほどの騒音であり、嫌がらせも怖く動けない。助けてほしい。</p>	<p>道路遊びについて小学校へ事情を確認した所、放課後職員で地域への見回りをしたり、保護者へ安全安心メールで児童の放課後の遊び方について周知しましたと学校から回答がありました。 今後も、担任から学級児童へ直接連絡をしたり、再度安全安心メールで保護者へ周知したりして対応するとのことです。</p>
	5	R 2 5月	<p>○ 市立学校の再開について</p> <p>熊本市では、コロナウイルス感染者が減ってきていることもあり、学校の段階的な再開には賛成である。ただ、本日の夕方のニュースで、6/8から部活動も再開とあったが、性急ではないか。 他県の時差登校、出席番号の偶数と奇数で分けての登校などのニュースを見た。専門家の意見でも、蜜は避けるよう呼びかけられている。 学習時間の確保など大変な事はわかっているが、性急すぎるように思い、不安だ。どう考えているのか。</p>	<p>6月8日からの部活動再開ですが、3か月間の休校による子どもたちの体力低下は予想しているところです。 そのため、6月8日から12日までは、1時間程度の活動で心身ともに慣らしていくよう各学校に連絡しております。その後の練習においても、3密を避けるだけでなく、熱中症へも用心したうえで徐々に進めていくようにしています。 他都市では、学校再開後に新型コロナウイルス感染がありました。熊本市も、先週から分散登校、今週から学校再開（給食を準備しての午前中授業）で、使用場所の消毒やマスク・手洗いの徹底等を行いながら、学校生活に少しずつ取り組み始めたところです。 ご心配は大変ありがたく、そのお気持ちもよく理解できるのですが、現在、熊本市も「リスクレベル1」になりましたので、学習時間の確保ということからも学校再開をいたしました。 今後、第2波、第3波が来るという話もあり、不安は大きいのですが、子どもたちのことについて考えてくださる方々のご意見をお聞きしながら取り組んでいきたいと思っております。</p>
	6	R 2 5月	<p>○ 熊本市中体連大会について</p> <p>熊本市中体連の中止と連絡が来ていた。 部活をしている子供の親としましては、納得ができないのが本音である。当たり前だが、子どもたちは目標を失っている。又、中止を決定するにあたっては苦渋の決断だったと思う。小さい大会の開催(区毎)でもいいのではないか。 開催する為には何をすれば良いのか、再検討は出来ないか。プロスポーツは今年開催できなくても、年齢が関係しないので来年開催できると思う。しかし、2020年の中学3年生は2020年中体連を一生に一度しか経験できない。 子供たちは大会を決める事も中体連をする事もできません。あまりにも可哀想である。苦労して開催した事が次に繋がるのではないか。</p>	<p>この大会のために、今までお子様や保護者の方が熱心に取り組んでこられたこと、その中で大会中止という結果になり、心を痛めていらっしゃることを、本当に心中をお察し致します。 ご意見の通り、プロスポーツとは違い、今年度の中学3年生にとっては2020年の市中体連大会は一生に一度しかありません。 熊本市中学校体育連盟もこの大会を目標に一生懸命取り組んできた子どもたちのためにも大会実施のために、何度も検討を重ねましたが、以下の理由で「中止」という苦渋の決断をされました。 1、生徒や大会関係者の命を守ることを最優先に考慮したこと 2、大会開催にあたって、すべての競技で感染予防対策を完全に行うことが困難であること 3、休校が長期に及び、練習不足などによるけがや熱中症の多発が危惧されること 4、会場確保（公的施設の使用制限等を含めて）の見通しが難しいこと 今回、熊本市中学校総合体育大会夏季大会は「中止」となりましたが、熊本市中学校体育連盟から実施時期や規模等を変えて、3年生のための代替大会の実施を前向きに検討すると聞いています。 頂いたご意見については、熊本市中学校体育連盟にもお伝えしてあります。</p>

市民の声	7	R 2 6 月	<p>○ 教職員の定期的なPCR検査実施について</p> <p>学校教育は、未来を創る重要な事業であることは言うまでもない。安全・安心な学校教育が実施できること、いつもの子供の明るい笑顔が見える事、これらは何にも増して社会に希望を与える。是非、市長のリーダーシップで、熊本の学校の教職員全員のルーティン化した定期的なPCR検査実施を制度化していただきたい。</p> <p>もちろん、生徒の検査も必要だろう。介護、保育の現場も同様である。安全なワクチンができるまでは、感染症に対する安心・安全は「検査と重症化しないうちの隔離」でのみ得られるものと思う。この一点しか確かな手法は無いと思う。</p> <p>武漢で大規模な全住民に対するPCR検査が実施されたそうだが、10検体をプールして一次検査をし、万一ポジができれば個々に再検査というスキムのようなのだが、そのような手法でも良いのかもしれない。幸い、日本でも唾液からの検体採取も認められたと報道された。</p> <p>私自身も現役の頃は実験でPCRは汎用していた。原理は単純な機械で、現在のリアルタイムPCRであれば解析も容易で、全自動の機械もあり、例えば「教育委員会による独自の検査体制の構築」などは、予算は伴うが比較的短時間で可能と考える。</p> <p>再び緊急事態宣言のような事になった時の人的感染被害や自粛による経済損失は、極めて大きいと予想されるので、医療介護・教育などの影響の大きな分野を選定して、常にPCR検査で安全・安心を確保することが賢明で合理的な政策と考えられる。</p> <p>失礼ながら、政府の施策は後手後手も多く、的外れと思われる様なものも認められる。我々一般人の唯一の希望は、賢明で先を見通し、決断力を持った地方自治体のリーダーのリーダーシップである。私達のような声なき声の希望に、是非、耳を傾けてほしい。</p>	<p>本市では、1日にPCR検査を実施できる数に限りがあることから、医師の診療の結果、検査が必要と判断された方や濃厚接触者を優先して検査を行っているところです。</p> <p>このような状況下、本市には、約4,000人の教職員が学校現場にあり、本市の検査能力や検体採取のための医材も相当数必要となることを考慮しますと、全教職員へ定期的なPCR検査を実施することは、現実的には大変困難であると考えております。</p> <p>しかしながら、学校現場においては、教育委員会が作成した「学校再開後の感染防止対策等のガイドライン」に基づき、朝の検温・こまめな手洗い・教室等の換気・必要箇所の消毒などを実践しているところであり、このような日常生活における感染予防行動の定着を図ることで、ご懸念のクラスター（集団感染）の発生を防止したいと考えております。</p> <p>このような日常生活における感染予防行動の徹底に加え、市民の皆様が安心できる体制づくりとして、熊本市医師会と連携して準備を進めておりました「地域外来・検査センター」を本年7月に開設し、かかりつけ医からの紹介で、保健所を通すことなく迅速に検査を実施することが可能となりました。</p> <p>今後も、感染第2波を見据えながら、検査体制の更なる強化・充実を図ることで引き続き感染拡大防止に努めてまいります。</p>
	8	R 2 6 月	<p>○ 学校の新型コロナウイルス対策について①</p> <p>新型コロナウイルス対策として、他県の事例だが、学校の水道の蛇口の握りを通常の回転式からレバー式に交換している報道があった。レバー式と言っても、説明が難しいが、手の甲や肘でも開閉が出来る物で、医療機関等で見かけるタイプである。</p> <p>このタイプだと、水道の開閉の作業の為に、手で蛇口の握りを握らなくても良いので、より感染のリスクが下がるようである。交換費用がかかり、今回の議会には間に合わないかも知れないが、第二波に備えて検討したらどうか。</p>	<p>横レバー式蛇口につきましては、感染症への予防対策に留まらず施設のバリアフリー化にも有効であると認識しております。</p> <p>導入については、今後の検討課題とさせていただきます。これからも児童・生徒が安全で安心して学ぶことができる良好な教育環境の充実に努めてまいります。</p>
	9	R 2 6 月	<p>○ 学校の新型コロナウイルス対策について②</p> <p>学校の先生のPCR検査は不要か。プロ野球やプロサッカーでは、選手の感染の有無を検査した上で無観客試合をするようである。</p> <p>学校では既に授業が再開されているが、先生全員の検査を行い、学校でのクラスターの発生を防止する必要はないだろうか。児童や生徒は発症しなくても、先生、両親や祖父母に感染を広げるリスクが大きいと思う。</p>	<p>本市教職員へのPCR検査実施については、約4,000人の教職員が学校現場にあり、本市の検査能力や検体採取のための医材も相当数必要となることを考慮しますと、現実的には大変困難であると考えております。</p> <p>しかしながら、学校現場においては、教育委員会が作成した「学校再開後の感染防止対策等のガイドライン」に基づき、朝の検温・こまめな手洗い・教室等の換気・必要箇所の消毒などを実践しているところであり、このような日常生活における感染予防行動の定着を図ることで、ご懸念のクラスター（集団感染）の発生を防止したいと考えております。</p>

市民の声	10	R 2 6 月	<p>○体罰の原因究明について</p> <p>体罰がおきてしまう原因の究明をお願いしたい。</p> <p>しばらく前になるが、熊本市立の学校で起きた「体罰」の報道を見た。当然ながら体罰は、あってはならないことである。</p> <p>ただ、今の時代でも先生の体罰が無くならず、その原因は先生の資質だけに問題があるように言われている。</p> <p>今の先生は、十二分に「体罰」が悪い事であること、気持ちをコントロールすること等を勉強しているはずだ。また、体罰をすれば、処分が下され報道により公になることもわかっているはずである。</p> <p>それなのに「体罰」が起こるのは、何か他に原因があるのだと思う。他人の目が届かない教室という閉ざされた条件で授業が行われるという特殊性。生徒がネットや漫画等から様々な情報を得ることでの問題行動の悪質化。先生が行う業務が多様化し、量も多くなっていることでストレスを多く抱えている等が考えられないか。</p> <p>審議会には弁護士や医師等の外部の専門家がメンバーとなっているようである。せつかくならば「公平な審議」をするだけでは無く、体罰が起きた状況を、専門家の視点で、個別に深く掘り下げる議論をして、対策を助言してほしいと思った。</p> <p>審議することは、判断するだけなので比較的簡単である。むしろ、ケースバイケースの体罰の発生原因の究明と、対策を考えることの方が、将来的にも重要だと思う。今後も体罰0を目指して、審議会の開催をお願いする。</p>	<p>ご承知のとおり、熊本市教育委員会では、令和2年(2020年)4月に弁護士や精神科医等の有識者からなる「熊本市体罰等審議会」を設置しました。</p> <p>当審議会は、教員等が児童生徒に対し指導として行った行為について、客観性・公平性を備えた幅広い視点から、体罰・暴言等に当たるか否かを認定するとともに、本市の学校から体罰・暴言等を一掃すべく、再発防止に関する助言を行うことを目的としております。</p> <p>体罰の認定に当たっては、当該児童生徒の年齢、健康、心身の発達状況、当該行為が行われた場所的及び時間的環境、指導の態様等の諸条件を総合的に考え、個々の事案ごとに判断する必要があることから、審議において、各委員の専門的知見に基づいた様々なご意見をいただいております。併せて体罰等の発生原因の究明や再発防止についての議論も行っていく予定です。</p> <p>これからも、個々の体罰が行われた背景や状況を踏まえた上で再発防止を図り、教育現場における体罰一掃と児童生徒たちが安心して健やかに育ち学ぶ環境づくりに努めてまいります。</p>
	11	R 2 6 月	<p>○市立図書館職員の個人情報の取り扱いについて</p> <p>3月以降コロナ対策にて各館において雑誌の閲覧ができぬ。但し最新号を除くバックナンバーは市立図書館、公民館図書館にて貸出が可能である。しかし「はあもにい」だけは貸出していない。このため市立図書館の職員経由にて「はあもにい」へ確認依頼してもらった。結果は「予算がかかる」とのことで貸出は断られた。今回、前回確認した市立図書館の職員に電話したら休みであったため、他の職員に話しをしたら、その職員が「はあもにい」に私の携帯番号を教え、「はあもにい」より私に電話がかかってきた。個人情報に大事に扱ってもらいたい。このことで市立図書館に抗議したら「公務員は悪用しないので携帯番号を教えたことに問題ない」と回答された。これは間違った回答だと思うので、個人情報の取扱について再教育願う。</p>	<p>「はあもにい」へご連絡先(携帯電話の番号)をお伝えして直接回答することについて、ご了解をいただく配慮が足らなかったことをお詫び申し上げます。</p> <p>「はあもにい」での図書の貸出については、市立図書館が管理するシステムを用いておりますが、図書の購入や雑誌の貸出等の取り扱いは「はあもにい」が判断しているところです。したがって、「はあもにい」の雑誌の貸出についてのお問い合わせについては、図書館では正確な状況を把握していないため、直接「はあもにい」から、ご回答することが適切と考えた次第です。今後は、丁寧な回答に心がけ、サービスの向上に努めてまいります。</p>
	12	R 2 6 月	<p>○中学生、高校生の交通マナーについて</p> <p>最近、中学生、高校生が交通マナーを守れていないと感じる場面が多くある。自転車と並走して走り、歩行者の妨げになっている場合や、道路いっぱいにはびこって歩き、歩行者に対して文句を言いながら歩く学生の集団もいた。学校での交通マナーの徹底を行うなどの対応をしてほしい。</p>	<p>熊本市立の学校においては、交通ルールの遵守や交通マナーについて、各学校で交通教室や交通安全に関する講話、ホームルームや街頭指導等を通して啓発及び指導を行っています。</p> <p>また、熊本県警察本部から毎月送付される「交通安全情報」を周知し、交通事故発生状況等について啓発するとともに、安全教育研修を通して、交通安全についても取り上げ、交通事故防止、交通ルールの遵守や交通マナーの向上に努めるよう指導しています。</p> <p>ご意見を踏まえ、登下校時の通行方法や自転車の利用について、今後も各学校へ繰り返し指導を行うとともに、熊本県教育委員会や熊本県私学振興課とも連携しながら、交通ルールの遵守やマナーの向上等について指導してまいります。</p>